

めるへん



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

東日本大震災記事

シリーズ東日本大震災⑦

支えあうと いうこと

震災関連死

震災の直接的な被害を受けた水死や圧死ではなく、避難生活の疲労や震災のショックで体調を崩すなどして亡くなるケースのこと。震災との因果関係が認められると、直接的被害で亡くなった人と同様、最高500万円の災害弔慰金(国と地方が折半)が遺族に支給される。自治体が判断に迷った場合は医師や弁護士が加わる審査会を開き、死亡診断書などをもとに決める。

(朝日新聞より)



「絆」「支えあい・助けあい」などの言葉が日々の生活の中に埋もれ有名無実化していた感がある現代において、昨年発生した東日本大震災は私たちに人々との繋がりの大切さ、当たり前と感じていた日常の尊さを改めて実感させられました。

このように余りに大きな代償を払って再確認・再構築した「絆」「繋がり」を、時間の経過による希薄化や喪失があってはなりません。

先日の新聞報道によると、被災3県の仮設住宅では、発生から1年間で22名の方が「孤独死」しており、地震や津波の直接的被害より助かった命が、「震災関連死」として残念ながら失われていきます。原因は種々あるでしょうが、人々との「繋がる力」があれば失われずにすんだ命もあると思います。

しかしながら、このような状況は震災後という、一定の極限状態でのみ発生するものではありません。私たちが生活している今この時にも、地域において社会的孤立状態で困難な状況に置かれている方がいます。

玖珠町に住む一人ひとりが日々の生活の中で、もう少し「繋がり」を意識しておくことは、福祉の専門職員が活動していく以上に地域の福祉力が大幅に向上することになります。

今回の震災を踏まえ日頃の防災や減災対策が大切であることは連日報道されていますが、その根幹にあるのは建築や備蓄等ではなく、日々の暮らしの中で周囲の人に対するちょっとした心づかいではないでしょうか。

社会福祉法人玖珠町社会福祉協議会

～平成24年度事業計画～

重点項目（抜粋）

1. 地域福祉活動の積極的な推進

誰もが安心して生活できるように、地域の福祉課題の把握に努めるとともに、解決のために自治コミュニティなどと協力していきます。

5. 地域包括支援センターの適正な運営

今年度から受託した地域包括支援センターを、行政の運営実績を踏まえ、より地域に密着し住民のみなさんに認識していただけるように努力していきます。

2. 在宅福祉事業の充実

みなさんが生活していく上で、悩みや困りごとがあると思います。そんなとき相談できる窓口や、ご利用いただけるサービスを積極的に提供していきます。

6. 理事会・評議員会の意思決定の強化

社会福祉協議会が今後どのように地域で事業展開していくのか、民間法人として経営の視点を持って適正に運営がなされるよう、役員のみなさんの意思決定を図るための情報提供や学習の機会を提供します。

3. 介護保険事業・障害者自立支援事業のサービスの質の向上

ヘルパーの派遣やデイサービスなど、提供している介護サービスを魅力あるものにしていき、是非利用したいと思っていただけるようにしていきます。

7. 情報開示・苦情解決体制の確立

みなさんが介護サービスを選んで利用する上で、必要な情報についてお知らせするとともに、利用して何かしら不都合があった場合の相談の受付、問題解決の体制を整備します。

4. 介護予防地域支援普及啓発事業の拡充

身体的な要介護状態の回避のみを目的とするのではなく、社会的孤立の予防など精神的なケアにも重点をおいた、いきいき元気教室・男性ふれあい広場等支援体制の整備に努めていきます。

8. 人材の育成

人が人を支えあい、助けあう福祉の仕事に取り組む私たち一人ひとりが、社協職員として自覚を持って業務に取り組み、誰からも慕われる「人望・人格・人徳」を磨いていくことに努めます。

あなたの生活応援します！

地域包括支援センター

玖珠町社会福祉協議会では、平成24年度から行政より「地域包括支援センター」を受託し運営いたします。
高齢の方が地域でいつまでも健やかに安心して暮らしていけるように、介護や健康・医療などの各福祉分野から生活を支えていきます。どなたでもお気軽にご利用下さい！



包括＝連携＝5つの輪

玖珠町地域包括支援センター看板に5つのカラーの輪が描かれています。この5つの「輪」は、①. 医療との連携 ②. 介護サービスの充実 ③. 予防の推進 ④. 生活支援サービスの確保 ⑤. 高齢者住まいの整備を意味し、あらゆる社会資源の「連携」を表現しています。



1) いつまでも地域で元気に暮らしていくために！ ～介護予防ケアマネジメント業務～

元気な人でも年齢を重ねると体が衰え、認知症などの症状も出てくることもあり、誰しも介護を必要とする状態が心配されます。

私たちはみなさんが介護の必要な状態になることを防ぎ、できる限り住み慣れた家で自立して暮らしていけるように支援していきます。

2) どんな悩みでもお話しください ～総合相談支援業務～

誰でも、日々の暮らしの中で家族の介護であったり、自分の健康のことであったり悩みを抱えながら生活を送っています。

しかし「どこで誰に相談したらいいの？」「こんな内容でも話を聞いてくれるの？」となかなか最初の一步が踏み出せません。

そんな時は遠慮せず私たちにお話しください。あなたと一緒に解決を目指していきます。

3) 心配ご無用！安心して頼ってください ～権利擁護業務～

日々の暮らしの中で助けが必要な状況は、知らず知らずにやってきます。

悪質な訪問販売や、認知症による判断能力の低下、または家族からの虐待など、あなたの生活を脅かす出来事に対して、その不安を一つ一つ解消するお手伝いをします。

素早く対応し、状況に合わせ一番良いと思われる支援を心がけます。

4) いつもみんなで見守っています！ ～包括的・継続的ケアマネジメント業務～

あなたが住んでいる地域でいつまでも安心して暮らしていけるように、ケアマネージャーやお医者さん・ヘルパーさんなど、普段からあなたと関係のあるみなさんが手と手を繋ぎ包み込むような支援体制を作り、いつも見守っていきます。

連絡先：玖珠町地域包括支援センター事務局

【住所】玖珠郡玖珠町大字岩室24番地1

TEL 72-7154 FAX 72-5620

社会福祉協議会へ



(平成24年 2月21日
～平成24年 4月18日)

香典返し

錨田日野稔様	片平田武石開様	専道原田増美様	長野下安部純一様	倉園麻生静馬様	山の手吉野多紀江様	後迫衛藤安夫様	春日町3田中文雄様	山中上高倉達臣様	元組下飯田太一朗様	朝見魚返和美様	上の市岡地菊田好孝様	山浦早水河野邦明様	室町隈元順一様	志津里飯田九州男様	中通り武石良太様	灰原梨子木喜造様
--------	---------	---------	----------	---------	-----------	---------	-----------	----------	-----------	---------	------------	-----------	---------	-----------	----------	----------

寄付金

上の市 衛藤不入子様	大分県立玖珠農業高等学校様	匿名 2件
------------	---------------	-------

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています

ありがとうございました



おおいた国体マスコットキャラクター
「めじろん」

第19回

「井の外の蛙」

「奇跡」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 秋吉 信隆

朝ドラの「カーネーション」を見ていた方は結構いたようだ。

老いて尚元氣な小原系子に、作者の渡辺あやが「年をとるということは奇跡を生み出す資格が出来、様々な役目をもらうことだ」と言わせ、次々と新しいことに挑戦させる。

周囲の若者はその勢いに刺激を受けて、力をもらい自分らしい生き方を見いだす。

系子は太平洋戦争で夫が戦死、父母や祖父母、周囲の人々に助けられながら厳しく、優しく3人の子供を育て上げる。

人生の節目節目で強く決断をし、失敗を恐れず伝統を守りながらも時代の流れを見極める才覚が見どころ。系子は自分の生き様を奇跡の連続であったとみている。

私たちの生活歴を振り返ってみても、周囲の方々の絆やご縁がきっかけで今の自分があると気付かされる。

人には思いがけないチャンスがめぐってくることがある。それは突然ではないように思える。基礎があり、土台が出来、素質とが互いに組み合わされた下地が存在するのではないか。系子が晩年生涯を通して世話になった人々の写真を並べた棚に向かつて手を合わせる場面が何度もあったが、系子の人生に多くの奇跡を生み出してくれた人々への報恩の心の働きがそこに見えた。



「つ・み・き くる つける づく」 でつながる、まちづくり

サロンネット事業のご案内

大分県社協では、住み慣れた地域で安心して暮らすことの出来るお手伝いとして、いきいきサロンを新たに立ちあげたり、現在あるサロンの内容を充実し、もろうため、一定の基準を満たしたサロンに助成金を交付いたします。

対象となるサロンはこの事業をご活用いただき、地域の見守りの輪の構築にご協力ください。

助成対象 新規開設

既存サロンの機能拡充

助成金額 1カ所10万円 (県内20カ所まで)

対象経費

賃借料、備品費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、会議費 (但し、人件費は除く)

申請場所

本資金の活用を考えている方は申請書類がございしますので、玖珠町社協事務局までお越し下さい。



6月・7月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
5/27 ■第7回大分県 障がい者スポーツ大会 (卓球・水泳)	28 ■老人福祉センター 休館日	29 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	30 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	31 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	6/1 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	2 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
3	4 ■老人福祉センター 休館日	5 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	8 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	9 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
10 ■第7回大分県 障がい者スポーツ大会 (陸上・フライングディスク)	11 ■老人福祉センター 休館日	12 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	13 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	15 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	16 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
17	18 ■老人福祉センター 休館日	19 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	20 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会(要予約) (ともに老人福祉センター)	21 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	23 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
24	25 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	29 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	30 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
7/1	2 ■老人福祉センター 休館日	3 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	4 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	5 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
8	9 ■老人福祉センター 休館日	10 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	11 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	12 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	13 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
15 ■給食サービス	16 (海の日)	17 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	18 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	19 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	20 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	21 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
22	23 ■老人福祉センター 休館日	24 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	25 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 ■心配ごと相談会 (ともに老人福祉センター)	26 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	27 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	28 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
29	30 ■老人福祉センター 休館日	31 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	8/1 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	2 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	3 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)

風薫る爽やかな季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

前回は、日記についての記事を書かせていただきましたが、その記事を見たという方から社協に電話をいただきました。その方(Aさん)は、町内の病院に入院中で、なんと50年以上も毎日日記をつけていると言われておりました。

それだけでも大変驚いたのですが、話を伺うと、さらに驚くことにAさんの父親も同様に長年に渡って日記をつけていたそうで、なんとAさんの産まれた日のことも書かれており、父親が亡くなられた後にその日記を見つけたAさんは大層感激されたそうです。

「日記を書くことは認知症の予防に有効だ」ということで前回記事で紹介させていただきましたが、それを抜きにしても、思い出を形に残す手段として、日記は素晴らしいものだと感じることができました。

(G)

編集後記



みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集しています。紙面に関するご意見、ご質問又は福祉に関する疑問など何でもOK。もし何かございましたら玖珠町社会福祉協議会までお寄せ下さい。

データでみる玖珠町 高齢化編

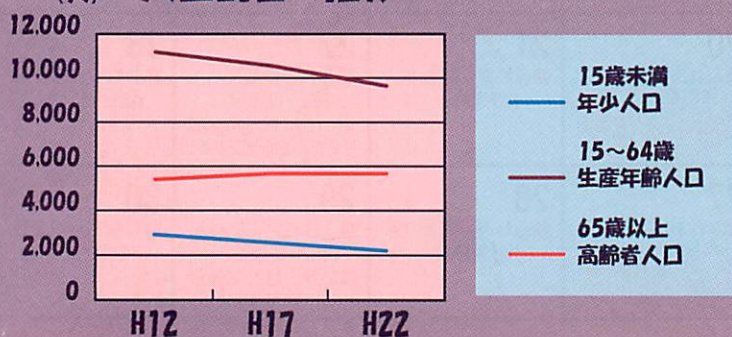
玖珠町の人口推移

【単位：人(括弧内は%)】

項 目	平成12年	平成17年	平成22年
総人口 (割合)	18,988 (100%)	18,276 (100%)	17,054 (100%)
15歳未満人口 (割合)	2,914 (15.3%)	2,581 (14.1%)	2,203 (12.9%)
15～64歳人口 (割合)	11,157 (58.8%)	10,527 (57.6%)	9,639 (56.6%)
65歳以上人口 (割合)	4,917 (25.9%)	5,167 (28.3%)	5,201 (30.5%)

(総務省：国勢調査)

(人) 人口割合の推移



今回は、玖珠町の「高齢化」について見ていきたいと思えます。65歳以上が総人口に占める割合を高齢化率といいますが、現在、日本では、この高齢化率が年々上昇しています。急速に高齢者が増えるにつれて、支援や介護を必要とする人も増えることとなりますが、独居世帯や高齢者のみの世帯が多くなるため、家族内での支え合いは難しくなってきた

います。そのため、サービスの充実や地域ぐるみでの見守り、支え合いが必要となります。また、それと同時に、高齢者自身に心身ともに健康で元気に暮らし続けてもらうための取組みとして、介護予防や生きがいづくりが必要であると言われています。

上の表を見ると、玖珠町の総人口が減少しているにも関わらず、高齢者人口は増加、高齢化率も上昇し、平成22年の国勢調査の結果では高齢化が30・5%となっています。

この数字は全国(23%)や大分県(26・6%)の数字を大きく上回っており、高齢者福祉の充実が求められる状況にあることがわかります。

玖珠町社協では、高齢者に住み慣れた地域で自分らしい生活を送っていただくため、さまざまな事業を行っています。また、民生委員会、老人クラブ、ボランティア連絡会等の各団体とも協力し、高齢者支援を行っています。今後とも、各種事業の推進のため、皆さまのお力添えをお願い致します。

玖珠町社会福祉協議会で高齢者を対象として行っている事業

事業名	内 容
通所介護	センターまで送迎をして、介護サービスを提供する中で、心身機能の維持向上及び孤独感の解消を図る。
訪問介護	ヘルパーが高齢者世帯を訪問し、身体介護及び調理や掃除等の生活支援サービスを提供する。
居宅介護支援	高齢者が可能な限り居宅での生活を送ることができるよう、本人及び家族、関係機関と相談しながら総合的な支援を行う。
ふれあいいきいきサロン推進	介護予防や社会参加、生きがいづくりを目的として公民館など地域の集いの場で開かれている「サロン」活動の、推進、普及を行う。
いきいき元気教室	老人福祉センターにて開かれている、介護予防、社会参加促進等を目的とした教室。
男性ふれあい広場	老人福祉センターにて開かれている、男性を対象とした介護予防、社会参加促進事業。
給食サービス	ボランティアや民生児童委員等による手作り弁当の調理配食サービス。
軽度生活援助事業	一人暮らし高齢者等を対象とし、草刈り、軽度の生活援助を行うための有償サービス。
介護予防ケアマネジメント	地域包括支援センターで、介護予防のための状況把握や予防プランの作成を行う。